

鷺浦地区の自然

鷺浦を囲む風景は時代を超えてほぼ変わっていない。木々の茂る丘陵が三方向から町を囲み、外界から遮断している。鷺浦遊歩道は野生のシカやイノシシの生息地を通過して 2.5 キロメートル続く。歩道沿いには豊かに茂ったヤマモモ、クリ、シナアブラギリ、ヤブツバキが観察できる。この歩道は西側の岬の頂上に到達し、開放的な海と海岸線を全方向に眺めることができる。切り立った崖、海蝕洞、火山岩の複雑に入り組んだ島々の風景だ。

11 月から 7 月の間、鷺浦港一帯で突堤や堤防にとまるウミネコの姿が見られる。その鳴き声は特徴的で、猫の鳴き声に似ていることからウミネコと呼ばれている。珍しい鳴き声で知られている生き物がもう一種類、港へ流れ込む八千代川に生息している。これはカジカガエルで、夏の夜に聞こえる鳴き声は、秋につがいを求める雄鹿の呼び声に似ていると言われている。

この地域の壮大な風景のほとんどは、海から鑑賞するのが最適だ。地元の旅行会社が港北部の海蝕洞とゴツゴツした断崖を探索するガイドツアー（クルージング）を運行している。